

## 正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

一般社団法人 埼玉労働基準協会連合会  
一般事業会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	382	△ 382
特定資産受取利息	0	382	△ 382
受取会費	1,398,550	1,353,050	45,500
正会員受取会費	450,000	450,000	0
特別会員受取会費	848,550	803,050	45,500
賛助会員受取会費	100,000	100,000	0
事業収益	84,854,745	79,666,300	5,188,445
技能・登録講習収益	58,020,050	58,851,650	△ 831,600
一般講習収益	16,188,700	10,766,250	5,422,450
技能・登録講習テキスト収益	7,840,580	7,886,780	△ 46,200
一般講習テキスト収益	2,333,760	1,689,820	643,940
出版事業収益	471,655	471,800	△ 145
受託事業収益	1,010,290	1,033,346	△ 23,056
全基連受託収益	199,100	275,200	△ 76,100
中災防受託収益	55,630	95,286	△ 39,656
安全衛生技術試験協会受託収益	755,560	662,860	92,700
受取補助金等	0	495,000	△ 495,000
受取国庫補助金	0	495,000	△ 495,000
雑収益	700,794	609,175	91,619
受取利息	823	518	305
広告料収益	449,370	354,714	94,656
雑収益	250,601	253,943	△ 3,342
経常収益計	87,964,379	83,157,253	4,807,126
(2) 経常費用			
事業費	69,241,164	71,702,823	△ 2,461,659
給料手当	21,052,506	19,502,101	1,550,405
臨時雇賃金	25,000	224,400	△ 199,400
退職給付費用	759,824	1,392,000	△ 632,176
法定福利費	3,267,476	3,215,172	52,304
福利厚生費	248,512	201,453	47,059
旅費	150,537	177,728	△ 27,191
交通費	0	408,457	△ 408,457
通信費	595,368	579,060	16,308
減価償却費	37,935	46,116	△ 8,181
消耗品費	1,244,513	2,238,874	△ 994,361
修繕費	99,116	98,339	777
印刷費	1,947,591	2,091,550	△ 143,959
水道光熱費	286,822	351,080	△ 64,258
賃借料	2,358,740	2,518,690	△ 159,950
借館料	3,973,558	4,351,008	△ 377,450
リース料	494,286	487,525	6,761
諸謝金	11,615,880	11,321,749	294,131
租税公課	3,310,572	4,024,351	△ 713,779
事務協力費	8,091,000	9,286,000	△ 1,195,000
支払寄付金	40,000	30,000	10,000
保険料	31,627	25,233	6,394
委託費	450,808	495,259	△ 44,451
テキスト代	8,251,022	7,724,964	526,058
渉外費	374,860	381,209	△ 6,349
雑費	533,611	530,505	3,106

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	10,745,133	10,137,063	608,070
給料手当	6,466,604	6,134,852	331,752
退職給付費用	280,176	348,000	△ 67,824
法定福利費	1,204,844	803,793	401,051
福利厚生費	91,637	50,364	41,273
会議費	170,106	215,781	△ 45,675
旅費	5,438	13,689	△ 8,251
通信費	72,927	69,696	3,231
減価償却費	20,853	52,352	△ 31,499
消耗品費	175,962	203,997	△ 28,035
修繕費	2,538	1,884	654
水道光熱費	105,763	87,771	17,992
借館料	1,465,202	1,087,752	377,450
リース料	142,350	94,823	47,527
租税公課	48,569	71,014	△ 22,445
支払負担金	210,000	213,000	△ 3,000
委託費	179,607	428,165	△ 248,558
渉外費	27,726	188,014	△ 160,288
雑費	74,831	72,116	2,715
経常費用計	80,222,573	81,839,886	△ 1,617,313
評価損益等調整前当期経常増減額	7,741,806	1,317,367	6,424,439
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,741,806	1,317,367	6,424,439
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,741,806	1,317,367	6,424,439
一般正味財産期首残高	60,144,284	58,826,917	1,317,367
一般正味財産期末残高	67,886,090	60,144,284	7,741,806
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	67,886,090	60,144,284	7,741,806

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
建物附属設備、構築物・・・定率法を採用している。  
ソフトウェア・・・定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	9,390,000	1,040,000	1,800,000	8,630,000
事務所建設積立預金	3,578,682	0	0	3,578,682
事務機械化積立預金	1,901,325	0	0	1,901,325
運営安定化積立預金	6,017,289	0	0	6,017,289
小 計	20,887,296	1,040,000	1,800,000	20,127,296
合 計	20,887,296	1,040,000	1,800,000	20,127,296

(注) 特定資産の預金口座から生じた利息は、金額的重要性に乏しいため、当年度より「特定資産受取利息」ではなく、流動資産の預金口座から生じた利息とまとめて、雑収益「受取利息」に計上している。

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	8,630,000			(8,630,000)
事務所建設積立預金	3,578,682		(3,578,682)	
事務機械化積立預金	1,901,325		(1,901,325)	
運営安定化積立預金	6,017,289		(6,017,289)	
小 計	20,127,296		(11,497,296)	(8,630,000)
合 計	20,127,296		(11,497,296)	(8,630,000)

(記載上の留意事項)

基金からの充当額がある場合には、財源の内訳として記載するものとする。

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,450,000	1,219,209	230,791
構築物	270,000	57,130	212,870
合 計	1,720,000	1,276,339	443,661